



ときには  
たかはまの蕘を 眺めてください

▲本行基葺きの重厚な蕘（青木町・恩任寺）

# “撮っておき” の たかはま

【第 33 回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとおきの「お宝」を紹介します。

## 蕘（いらか）

5月5日は端午の節句。蕘の波と雲の波・・・この季節におなじみのフレーズは瓦のまち高浜市の初夏の風景によく似合う。

「蕘」という言葉には「瓦葺きの屋根」「屋根瓦」「棟の瓦」などの意味がある。瓦葺きの家が減ったとはいえ、散策道“鬼のみち”をはじめ、市内を歩くと、まだまだ風情ある瓦の家並みに出会うことができる。ほかのまちからの来訪者から「さすがに立派な瓦屋根が多いですね。」という声もあがる。

井上靖の小説『天平の蕘』の「蕘」は鑑真が建立した唐招提寺の瓦屋根のことをさす。古くは、瓦は大変貴重な建築材料で、寺院や城などがざられた建物にしか使われなかった。庶民の家屋に使われるようになったのは江戸時代のなかばで、密集した町なかでの火事の類焼を防ぐ目的からという。この地で瓦作りが盛んになったのは今から300年ほど前。土質が瓦作りに適し、海に面した地の利もあって船で全国に出荷されていた。

昨年12月には瓦のまちの伝統を誇り、継承していこうと「みんなで三州瓦をひろめよう条例」もできた。ときには、坂の上や小高い場所から、たかはまのまちの蕘の波を眺めてみては。

# LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください！

広報 **たかはま**

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110

<http://www.city.takahama.lg.jp/>

電子メール [info@city.takahama.lg.jp](mailto:info@city.takahama.lg.jp)

早期配布にご協力ください。



VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。